

和土小だより



児童数 男子 98名
女子 75名
総計 173名

発行責任者 校長 辻 美由紀



「読書の秋」新しい世界と出会う一冊を

校長 辻 美由紀

緊急事態宣言が解除され、社会では色々な場面で制限が緩和される動きがあるようです。学校も校外学習等を予定通り（日程を変更したものもありましたが）実施できそうなことも踏まえ、原則、通常登校といたしました。オンライン授業も当初は、何とか2週間…と考えておりましたが、一か月の実施となりました。一人1台端末を導入した時には、いつの日かこのような授業も…とイメージしておりましたが、予想外の早さで現実のものとなりました。先生方のオンライン授業の技術は、メキメキと上達し、見ているだけの私は感心することしきりでした。とはいえ、ご家庭で大きな助けをいただいたからこそ、何とか学習が成立したこと、ご支援ご協力に感謝申し上げます。

子ども達が学校に戻ってきたタイミングで、本校では「読書の秋」を迎えます。家で過ごす時間も長くなり、読書を十分に楽しまれた方も多いたと思いますが、こんな本はいかがでしょうか。



ピクトさんの本
内海慶一 著(BNN)

実は「ピクトグラム」という言葉を知らない頃、今から十年以上も前にこの「ピクトさんの本」を書店で見つけました。いわゆる新書版の小さな本ですが、帯のキャッチコピー『あなたも必ず見たことがある！あの可哀想な人。』を見て手に取りました。世界中で使われているピクトグラム。痛い思いをして、私達に注意を促してくれている、と敬意と親しみを込めて著者は「ピクトさん」と呼んでいます。なるほど、見覚えのあるものから、初めて見る意外な標識まで、多くの写真を集め、分類してコメントを付けています。当時は、マイブームで担任をしていた学級で「こんな面白い本があった」と子ども達に紹介した覚えがあります。しばらく書棚の奥に眠っていましたが、この夏のオリンピックでピクトグラムのパントマイムが話題になり、「そういえば、どこかに本が…」と、引っ張り出してみた次第です。最近では、話題になったからか「世界ピクト図鑑」なるものも出ているようです。この本では、海外のピクトグラム使用について、国別にレポートしているページがあります。興味を引いたのは、オーストリア。男女平等を広く多くの人に知らせる、という趣旨から、「工事中」や「非常口」のピクトグラムに男女の別が分かるようなピクトグラムを試行したとのこと。確かに「人」ということは伝わるのですが、男女の違いを意識して見ることはありません（私は、ですが…）。規格に適合しないなどの理由で多くは、試行に終わったようですが、現在も残っているのは、優先席表示だそうです。私達もバスや電車等でよく見かける優先表示ですが、髪型などの表現で男女が描き分けられています。「乳幼児を連れた方優先」を示す乳幼児を膝に抱いたイラストは、女性バージョンと男性バージョンがあります。日本でも、最近ジェンダーフリーが話題になっていますが、このように標識の話題を取り上げる中でも、そういう社会的な課題につながっていくのか、と面白さを感じています。このレポートの結びに「ウィーンを訪問する機会があったら、ぜひ気にしてみてください。」とありましたが、私は、この先、実際に目にする機会がもてるのでしょうか。

さて、一風変わった本を紹介しました。想像を広げて楽しむ読書もありますが、一冊の本が、新しい世界に触れるきっかけになることもあります。「読書の秋」和土っ子達にもそんな一冊と出会って欲しいと思います。ご家庭でも、ぜひ、親子で読書を楽しまれてはいかがでしょうか。感染症も少し落ち着き、ゆったりと秋を楽しめるよう願っております。保護者、地域の皆様におかれましても、季節の変わり目、お身体ご自愛ください。

実は「ピクトグラム」という言葉を知らない頃、今から十年以上も前にこの「ピクトさんの本」を書店で見つけました。いわゆる新書版の小さな本ですが、帯のキャッチコピー『あなたも必ず見たことがある！あの可哀想な人。』を見て手に取りました。世界中で使われているピクトグラム。痛い思いをして、私達に注意を促してくれている、と敬意と親しみを込めて著者は「ピクトさん」と呼んでいます。なるほど、見覚えのあるものから、初めて見る意外な標識まで、多くの写真を集め、分類してコメントを付けています。当時は、マイブームで担任をしていた学級で「こんな面白い本があった」と子ども達に紹介した覚えがあります。しばらく書棚の奥に眠っていましたが、この夏のオリンピックでピクトグラムのパントマイムが話題になり、「そういえば、どこかに本が…」と、引っ張り出してみた次第です。最近では、話題になったからか「世界ピクト図鑑」なるものも出ているようです。この本では、海外のピクトグラム使用について、国別にレポートしているページがあります。興味を引いたのは、オーストリア。男女平等を広く多くの人に知らせる、という趣旨



世界ピクト図鑑
児山啓一 著(BNN)

未来に向かって力強く生きる ひとみ輝く 和土っ子の育成

○やさしい子 ○かしこい子 ○たくましい子
やさしさいっぱい 力いっぱい やる気いっぱい

